

接続料と利用者料金との関係の検証結果

(単位：億円)

サービス	①利用者料金収入	②接続料相当	③差分 (①-②)	④利用者料金収入に占める差分の比率(③÷①)	接続料相当の算定方法 (以下の接続料等に需要を乗じて算定)	
フレッツ光ネクスト	5,031	2,233	2,798	55.6%	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号主端末回線・光信号端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、光信号電気信号変換機能、NGN(収容局接続機能・端末系ルータ交換機能・一般中継系ルータ交換伝送機能・一般収容局ルータ優先パケット識別機能・一般IP通信網県間中継系ルータ交換伝送機能、関門系ルータ交換機能)、回線終端装置	
ひかり電話	移動体着等を含む場合	1,138	177	961	84.4%	NGN(光IP電話接続機能)、中継交換機能、一般IP通信網県間中継系ルータ交換伝送機能、加入電話・メタルIP電話接続機能、中継交換機接続用伝送装置利用機能、中継交換機回線対応部専用機能、他事業者接続料
	移動体着等を除く場合	908	84	824	90.7%	
ひかり電話ネクスト	14	5	9	64.3%	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号主端末回線・光信号端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、光信号電気信号変換機能、NGN(端末系ルータ交換機能、光IP電話接続機能)、回線終端装置、中継交換機能、一般IP通信網県間中継系ルータ交換伝送機能、加入電話・メタルIP電話接続機能、中継交換機接続用伝送装置利用機能、中継交換機回線対応部専用機能、他事業者接続料	
ビジネスイーサワイド	389	281	108	27.8%	イーサネットフレーム伝送機能、端末回線伝送機能(光信号端末回線)	

(注1) 利用者料金収入は、2022年度の実績

(フレッツ光ネクストマンションタイプのうちVDSL方式については、VDSL装置の利用料を含みません)

(注2) 接続料相当は、各サービスで使用する機能に応じた2022年度の実績需要に2024年度適用接続料を乗じて算定しています

(加入光ファイバ等の収容率は接続料設定上の予測値)

(注3) ひかり電話における移動体着等を除く場合については、移動体・PHS・050・国際着及びフリーアクセス・ひかりワイド着に相当する利用者料金収入と接続料相当をトラフィック比(通信時間比)等^{*}を用いて除外

^{*}勘定科目で把握可能なものについては、個別に金額を把握した上で除外

(注4) ひかり電話ネクストは、2022年度期末時点では実績需要がなかったため、直近の需要を勘案して2023年度の利用者料金収入及び接続料相当を推計したもの

接続料と利用者料金との関係の検証結果
(総務省が決定するサービスメニュー)

2024年1月16日
N T T 東 日 本

品目		検証に用いた接続料等		検証結果(注)
1. フレッツ光ネクスト	(1) ファミリータイプ	①10Gbit/sまでの 符号伝送が可能なもの (フレッツ光クロス)	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号分岐端末回線・光信号主端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(端末系ルータ交換機能・一般収容局ルータ優先パケット識別機能・一般中継系ルータ交換伝送機能、閉門系ルータ交換機能)、回線終端装置	○
		②①以外のもの	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号分岐端末回線・光信号主端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(収容局接続機能)、回線終端装置	○
	(2) ビジネスタイプ		回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(収容局接続機能)、回線終端装置	○
	(3) マンションタイプ (VDSL方式 /LAN配線方式)	①ミニ ②プラン1 ③プラン2	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線)、光信号電気信号変換機能、NGN(収容局接続機能)、回線終端装置	○
	(4) マンションタイプ (光配線方式)	①10Gbit/sまでの 符号伝送が可能なもの (フレッツ光クロス)	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(端末系ルータ交換機能・一般収容局ルータ優先パケット識別機能・一般中継系ルータ交換伝送機能、閉門系ルータ交換機能)、回線終端装置	○
		②①以外のもの(ミニ)	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(収容局接続機能)、回線終端装置	○
		③①以外のもの(プラン1) ③①以外のもの(プラン2)	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光信号端末回線・光信号伝送装置)、NGN(収容局接続機能)、回線終端装置	○
	(5) プライオ		回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号分岐端末回線・光信号主端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(収容局接続機能・一般収容局ルータ優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)・一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラス)・IP通信網県間区間伝送機能(優先クラス)、回線終端装置	○
	(6) オフィスタイプ	①10Gbit/sまでの 符号伝送が可能なもの (フレッツ光クロス)	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号分岐端末回線・光信号主端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(端末系ルータ交換機能・一般収容局ルータ優先パケット識別機能・一般中継系ルータ交換伝送機能、閉門系ルータ交換機能)、回線終端装置	○
		②①以外のもの	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号分岐端末回線・光信号主端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、NGN(収容局接続機能)、回線終端装置	○
2. ひかり電話(閉門系ルータ交換機能を用いる場合)			NGN(光IP電話接続機能)、中継交換機能、一般IP通信網県間中継系ルータ交換伝送機能、加入電話・メタルIP電話接続機能、中継交換機接続用伝送装置利用機能、中継交換機回線対応部専用機能、他事業者接続料	○
3. ひかり電話ネクスト(閉門系ルータ交換機能を用いる場合)			回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号主端末回線・光信号端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、光信号電気信号変換機能、NGN(端末系ルータ交換機能、光IP電話接続機能)、回線終端装置、中継交換機能、一般IP通信網県間中継系ルータ交換伝送機能、加入電話・メタルIP電話接続機能、中継交換機接続用伝送装置利用機能、中継交換機回線対応部専用機能、他事業者接続料	○
4. ビジネスイーサワイド	(1) MA設備まで利用する場合		イーサネットフレーム伝送機能、端末回線伝送機能(光信号端末回線)	○
	(2) 県内設備まで利用する場合		イーサネットフレーム伝送機能、端末回線伝送機能(光信号端末回線)	○
	(3) Interconnected WAN(MA設備まで利用する場合)		イーサネットフレーム伝送機能、端末回線伝送機能(光信号端末回線)	○
	(4) Interconnected WAN(県内設備まで利用する場合)		イーサネットフレーム伝送機能、端末回線伝送機能(光信号端末回線)	○

(注) ○：利用者料金が接続料の合計を上回っているもの ×：利用者料金が接続料の合計を下回っているもの

接続料と利用者料金の関係の検証結果

(総務省が決定するサービスメニュー)

2024年1月16日
N T T 東 日 本

<利用者料金収入の算定方法>

1. フレッツ光ネクスト

(1) ~ (5)

① 10Gbit/sまでの符号伝送が可能なもの : 代表的な割引プラン(クロススタート割引)の適用率と割引額をもとに、1ユーザあたりの平均的な割引額を算定し、約款料金に反映。

② ①以外のもの : 代表的な割引プラン(にねん割)の適用率と割引額をもとに、1ユーザあたりの平均的な割引額を算定し、約款料金に反映。

(6) オフィスタイプ

: 基本料相当に保守に係るオプション料相当を加算したもの。なお、オプション料相当についてはライトとスタンダードの利用者数で加重平均して算定。

2. ひかり電話

: 実績収入を稼働施設数で除して算定。

3. ひかり電話ネクスト

: 基本料にひかり電話と同額(実績収入を稼働施設数で除して算定)の通話料を加算して算定。

4. ビジネスイーサワイド

: 2022年度実績収入をアクセス回線数で除して算定

<接続料相当の算定方法>

接続料相当は、今回申請した2024年度適用接続料を用いて算定。

・加入光ファイバ等の収容率は接続料設定上の予測値。

・「1.フレッツ光ネクスト(1) ファミリータイプ ① 10Gbit/sまでの符号伝送が可能なもの(フレッツ光クロス)」の接続料相当については、以下の通り算定。

— 光信号主端末回線は、適用接続料を光信号主端末回線の予測需要の各年度構成比で加重平均。

— 光信号伝送装置、光信号多重分離機能、NGN(端末系ルータ交換機能、一般収容局ルータ優先パケット識別機能)は2020~2024年度適用接続料。

— 上記以外は2024年度適用接続料。

・「1.フレッツ光ネクスト(4) マンションタイプ(光配線方式) ① 10Gbit/sまでの符号伝送が可能なもの(フレッツ光クロス)」の接続料相当については、以下の通り算定。

— 光端末回線、光信号多重分離機能は、2020~2024年度のフレッツ光クロス(戸建)における平均収容ユーザ数をもとに、ネクストにおける戸建と集合の収容率差を見込んで算定。

— 光信号伝送装置、NGN(端末系ルータ交換機能、一般収容局ルータ優先パケット識別機能)はフレッツ光クロス(戸建)の一利用者当たりコストと同額を見込んで算定。